

“ Where in the world is Santa Claus? ”

本日のゲストは、

Mr. Mathew Allen Sawyer-Long. 今回で14度目の登場となります。

今日の話は、<“ Where in the world is Santa Claus ?”>



今年最後の例会で、しかも、クリスマスが真近というタイミングでゲストとして招かれ嬉しいとサンタの衣装を纏い、皆の前に登場してくれました。一年のうちで、来るのが待ち遠しい大事な行事がクリスマスです。

そのサンタの衣装は、日本式の着物風（右前合わせ）でした。

クリスマスでの挨拶、色々。

<Happy christmas>と挨拶されました、この言い方は英国スタイルで、イングランド、ウェールズ、オーストラリア、ニュージーランド等で使われると米国では通常<Merry christmas>と言います。

個人的には<Merry christmas>よりは<Happy Christmas>が好きだとか、何故でしょうか、

誕生日を祝う時には

< Merry birthday >と言わずに< Happy birthday >と言うでしょ！

なので

クリスマスを祝うには<Happy christmas>と言った方が好きなのだと仰る。なるほど！

世界中の誰もが知っているサンタクロース

誰もが知っていて、その存在を認めるクリスマスのシンボルですね！

ですが、サンタの事をどれだけ知っていますか？

サンタとは一体何なのでしょう？

- 何歳なのか？
- 何処に住んでいるのか？
- サンタが好きな人は誰か？
- サンタは人間か？神か？魔法使い？
- 結婚しているのか？（マツさんはここが聞きたいそうです）
- 何処から来るの？

ということで何年も費やし本の5、6冊手に入れ、色々調べたようです。

サンタとは

千年も前の昔からある考え方です。

例えば、北欧神話から

オーディンが八本足の馬に乗って来て家のドアを叩き、悪い子が居るか尋ねる、子供達はオーディンが来ると、家の高いところに駆け上がる。オーディンはソックスの中に小さな贈り物を置いて、その家を去る。

オーディン（北欧神話の主神）



オーディンの愛馬（スレイプニル）



現在のサンタさんの行動にとってもよく似ています。

他にも、

家族が集まり、外に出て、松の木やリンゴの木を飾る。こういった事柄が千年も前から行われていたのです。

サンタクロースは名前が沢山あります。

現代のサンタは

聖ニコラスに始まると謂れています。

ではどのようにして聖ニコラスがサンタクロースになったのでしょうか？

聖ニコラスは4世紀頃の神父です、子供達を守りとても優しくったのです。

オランダでは、

聖ニコラスはシンタクラウスと呼ばれ、子供達に敬愛された。

一年を通じて人々を観察して、悪い子には鞭を、良い子には褒美を。

ロシアや北欧では

グランドファーザー・フロストと呼ばれる人物が人々の家に来ると家に入れ、火の傍に誘い、ワインやケーキでもてなしました。

お返しに早い春の訪れを人々にプレゼントしました。

イングランドでは
杖をつき、背にはおもちゃ等を背負っている
ファーザークリスマスが登場します。

ファーザークリスマス



17世紀、

ヨーロッパ各国からアメリカ大陸へ移民が始まったが、
オランダはハドソン川周辺をニューネーデルランドと呼び、
ニューアムステルダムを活動の拠点としました。
そこでも<シンタクラウス>の言い伝え・習慣も根付いたのです。
植民地時代の紆余曲折、時代の移り変わりを経て、
<シンタクラウス>の呼び名は、今日の<サンタクロウス>に収まったのです。
因みに地名<ニューアムステルダム>は今日の<ニューヨーク>です。

- 北欧神話、
- 聖ニコラスの言い伝え、
- 移民による物語の拡散を経て
今日のサンタクロウスが定着したのです。

各地のサンタ衣装は必ずしも赤ではなく
例えば、フランスでは緑でした。

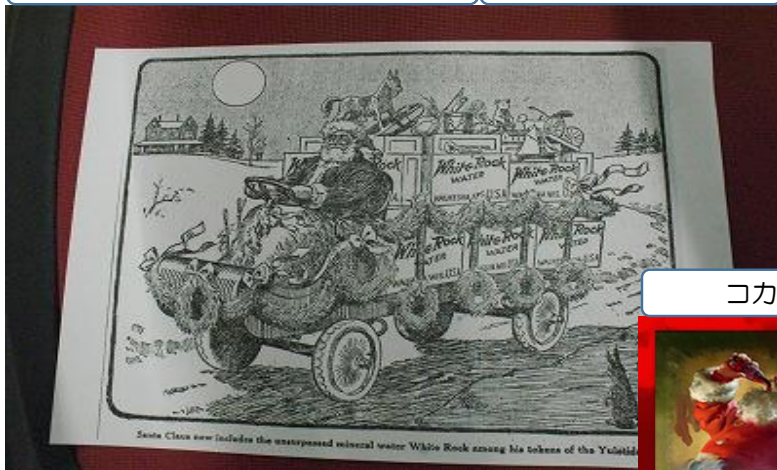
現在のサンタクロウス



サンタクロースのイメージが現在のようになったのは、どうしてでしょうか？
広告にサンタクロースが登場したのは、下の写真のようなものです。

広告に使われた最初のサンタ ⇒

White Rock Water



コカ・コーラの宣伝に使われたサンタクロース



サンタクロースの衣装が赤で定着したのは、
コカ・コーラの宣伝に赤の衣装を纏ったサンタが使われて、
このイメージが定着したからです。

- サンタクロースが子供達にプレゼントを配る謂れと、
- クリスマスには商売の上で大きなお金が動くことから

販売会社（Toy, Shopping, food, Christmas-tree, Present, Music, decoration）
の戦略が相まって今日のイメージが作られたと言えます。

ヨーロッパでは、12月6日を聖ニコラスの日として祭る習慣があります。
この日、聖ニコラスがやって来て、子供たちにプレゼントを配ります。
では、なぜ
サンタクロースの起源となった聖ニコラスの日がクリスマスではないのか？

イエスキリストの誕生日は、定かではありません。
既にあった<冬至のお祭り>に合わせて<キリスト降誕のお祝い>として
クリスマス（12月25日）が行われるようになりました。